

仕様書

研 修 科 目	京都市職員向け手話研修
研 修 目 的	手話により、聴覚障害者とのコミュニケーションが可能な職員を養成することで、京都市役所に来庁する聴覚障害者への社会的障壁を取り除くことを目的とする。
受 講 対 象 者	全職員
受 講 予 定 人 数	約30名
研修日数・時間 研 修 回 数	団体研修@120分×6回、自宅学習（トータル80時間程度）
研 修 実 施 予 定 時 期	令和4年6月～令和5年3月 各回午後6時30分～
研 修 方 法	団体研修（講義、実技）、自宅学習、検定試験
研 修 内 容	<p>団体研修、自宅学習とも、社会福祉法人全国手話研修センターが行う全国手話検定試験4級の合格を目指し、合格に必要な単語・例文数等を網羅した内容とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 団体研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話の基本表現（名前、日程、数字、家族、地名など）</li> <li>・ 会話練習（日常会話や窓口対応等の実践的なロールプレイ）</li> <li>・ 自宅学習での到達度の確認及び次回の団体研修までの課題設定、学習方法のポイント解説等</li> </ul> </li> <li>◆ 自宅学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検定合格に必要な単語、例文等の習得</li> </ul> </li> <li>◆ 検定試験（1回：年度末頃） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人全国手話研修センターが行う全国手話検定試験（4級）の本講座受講者向けの団体受験を行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>※1 自宅学習用教材選定に当たっては、学習効率の観点から、積極的にeラーニング教材等の導入を検討すること。</p> <p>※2 団体研修及び自宅学習用のテキスト・教材は研修機関で用意することとし、代金は見積金額に含めること。</p> <p>※3 検定試験の実施費用には、研修受講者の受験料を含めること。</p> <p>※4 団体研修及び団体受験の会場は、本市研修施設とする。開催日程については、本市と協議の上、決定すること。</p>
上 限 金 額	660,000円